

## 田口佳史先生の講演「房総の仙客・日高誠実」

2020年10月12日

我部山 民樹

講演日

2018年3月3日

講師

田口佳史氏（老荘思想家他）

市原市図書館特別講座

後援

市原市教育委員会・小湊鉄道株式会社

### 1. はじめに

養老溪谷を何度か訪れ、日高誠実（のぶざね）の記念碑を見たことがある。帰ってから調べて世に知られていないが、偉大な人物であると分かったが、それ以上は調べなかった。今度の講演で、理解できると思ったが、予備知識が乏しかった所為か講演内容の記憶が定かでない。再現できない。

後で渡邊茂男氏の著書「房総の仙客 - 日高誠実 -」を読んで得た知識を織り込んで、自分なりの理解を纏めた。

誠実は日向高鍋の人で、幕末から明治という未曾有の大変革時代を生きた大知識人であり、詩人としても当代一流の人物でありながら、世に知られることはなかった。

50歳にして高鍋を引き払い、市原郡大久保村を拝借し、誠実が名付けた「梅が瀬」（養老溪谷に隣接）を‘終の棲家’とし、近隣の人々と共同して、梅の栽培・牧畜・養魚などの事業を経営し、近隣の青年たちに学問を教授した。

講演をベースに調査したことを織り込んで書き直してみた。



Nobuzane Hidaka

1836-1915 幕末-明治時代の漢学者。天保7年2月29日生まれ。日向(宮崎県)高鍋藩士。江戸で古賀謹一郎にまなび、明治元年藩校明倫堂教授となる。維新後、陸軍省にはいる。のち千葉県に私塾梅瀬書堂をひらいた。大正4年8月24日死去。79歳。



養老溪谷栗又の滝



日高邸跡（梅が瀬溪谷）

日高邸（昭和 40 年前？）

先人が大切にする土地はいつか必ず発展繁栄する。

日高誠実が建設した理想郷「梅ヶ瀬」も同様だと思う。日高誠実は「典型的賢人碩学」（修めた学問が広く深い人）である。勝海舟、山形有朋、伊藤博文等と交友があった。彼の人物像の研究が進んでいる。

彼は梅ヶ瀬の地を最初に見た時から気に入っていたので、後に政府に払い下げてもらった。

彼の生き方を学び、文明の大転換期に差し掛かった今、これから向かうべき方向の指針にする。

## 2. 今我々の直面する課題

- ・人工知能（ロボット等）の出現のような技術主導型転換期をどう生きるか
- ・隣国中国の発展と繁栄に対してどのように対応するか？覇権主義ではないか？吉とするか凶とするか
- ・東洋と西洋の知の融合
- ・北米主義→グローバル  
（東洋と西洋が歩み寄って）

この状況で 21 世紀の人類の指針はどうあるべきか？

## 3. 明治維新について

### ①維新にやるべきこと

明治維新は近代国家への脱皮である。ポイントは

○法体系 ○政治制度 ○経済システムの整備

- ・法体系→法万能にする
- ・経済システムは資本主義にする→金銭物質至上主義
- ・国家とは何か、行政とは何か、企業とは何かである。

### ②明治維新政府の課題

今年（2018 年）は明治維新（1868 年）から 150 年である。

明治維新は東洋の奇跡と言われている。明治維新時の課題は

- ・内憂 幕藩体制の緩み

- ・外患 欧米列強の襲来
- ・近代国家を建設する。それも一刻も早く変革をやり遂げる。

### ③維新の経緯

維新はいつからか。実は大塩平八郎の乱から始まっている  
大塩平八郎

江戸時代末ごろの陽明学者、大坂奉行の与力であったが、引退後、家塾で陽明学を教えた。天保の飢饉で苦しむ人々を救おうと、度々奉行所へ訴えたが取り上げられず、農民 300 人を集めて「救民」の旗を立て、反乱を起こした(大塩平八郎の乱)。反乱は鎮圧され、平八郎は自殺した。この反乱は幕府が直接におさめる都市で、幕府の元役人が起こした反乱であったので、幕府を驚かせた。またこの後、この乱に影響され、各地で一揆や打ちこわしが起こった。(引用)

1837 年	大塩平八郎の乱、幕府の役人の反乱
1853 年	ペリーの来航 内憂外患
1868 年	明治維新 ・産業革命 ・学校制度 ・殖産興業
1894 年	日清戦争
1904 年	日露戦争 ・富国強兵
1915 年	対華 21 ヶ条 日本は増長してきて、行き過ぎであった。中国は今日でもこのときの屈辱に、切齒扼腕している。

対華 21 箇条とは

「日本が中国に提出した利権拡大要求。山東省におけるドイツ権益の譲渡、南満州鉄道権益期限の 99 年延長、**漢冶萍公司**(かんやひょうこんす) の合弁化などを求め、最後通牒により、一部修正して承認させたもの。中国民衆は受諾した 5 月 9 日を国恥記念日として反日運動を展開した。  
(引用)

## 4. 日高誠実の人物像

### ①略歴

1836 年	生まれる
1856 年	江戸に遊学。古賀謹一郎に学ぶ
1864 年	再び江戸に遊学

- 1868年 藩校「明倫堂」の教授
- 1870年 (陸軍に入る)
- 1881年? (梅ヶ瀬を訪れ、大いに気に入る)
- 1884年 (「帰隠乃所」として市原郡大久保の十ヶ村の拝借願提出)
- 1886年 (梅ヶ瀬に入村する)
- 1904年 「梅ヶ瀬堂」開講式
- 1915年 没す (79歳)

## ②誠実が受けた教育

- ・「四書五経」
  - 四書～大学、論語、孟子、中庸/五経～ 易経、書経、詩経、礼記、春秋
- ・藩校明倫堂で、思想哲学を学ぶ
- ・私塾の寺子屋に6歳で入る
- ・大学の道は明德を明らかにするにあり

学問の基本は、人が生まれつき具えている徳性をいっそう発揮することにある。その上で、これを人々に及ぼし、汚れを取り去って自分を新生させるようにする。また、いつも自分を高めて、至善の境地にとどめておくことである。孔子の言葉である。

この「徳」とは何か？単に英語の **virtue** (徳、美德、徳行、善行、道徳的美点) の意味だけではない。自己の最善を他者に尽くしきることである。そうすれば感謝の人間関係が成立する。

明德を明らかにするとは

- ・社会とは何か
  - ・社会は誰と誰からできているのか
  - ・自己と他者
  - ・自己は一人、他の総ては他者
  - ・自己中心になったとたんに孤立する
  - ・自分勝手、自己中心、自己の利益優先
- 「利己主義の人間」が嫌いとなる。

である。

## ③江戸教育の目的

立派な大人 (大丈夫という) に育てる  
人間性と社会性

↓                    ↓

人間力            社会力

人間にとって大切なことは習得に時間がかかる

#### ④秋月藩に仕えた日高家を育てた風土

##### ・秋月家

反乱を起こした藤原純友と戦った大蔵春実の末裔で、鎌倉時代に秋月に居城を構えて、秋月姓を名乗るようになった。秀吉により、宮崎県の財部（たからべ）に移封された。（後に財部→高鍋となる）

（藤原純友は平安時代貴族出身で、伊予を本拠の海賊となり、939年に反乱を起こし、太宰府を襲撃したが、朝廷軍に滅ぼされた。）

##### ・第7代藩主秋月種茂

種茂は名君の誉れ高く、木材、紙等を藩直営化して、悪化していた藩財政を立て直した。教育改革を進め、藩校「明倫堂」を創始。質の高い藩校で多くの人材を輩出した。誠実がその一人である。

横道にそれるが、種茂の弟が米沢藩に養子に入った米沢侯上杉鷹山で、質素に暮らしながら、様々な策を立て、倒産寸前の藩の財政を立て直した。兄弟ともに並外れた名君である。

鷹山についてはケネディ元米大統領が‘最も尊敬する日本人は上杉鷹山’と話していた逸話がある。ケネディ元駐日大使も就任演説で‘上杉鷹山が父の最も尊敬する日本人’と証言した。内村鑑三の英文の著書「代表的日本人」を読んだのだろうと言われている。西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮の生涯が紹介されている本である。

（欧米に日本をよく理解してもらうために最初から英文で書かれた本で、後日、別人の和訳本を読んだ。）

鷹山は倒産状態にあった日本一貧乏な出羽国米沢藩に第9代藩主として婿養子に入り、質素に暮らしながら、倒産寸前の藩財政を立て直した。数々の名言を残している。

（童門冬二の「小説 上杉鷹山」は涙無くしては読めない）

生せは生る 成さねは生らぬ  
何事も 生らぬは人の 生さぬ生けり

（訳：やれば出来る。  
やらなければ出来ない。）

どんな事においても、  
出来ないというのは、  
やろうとしていないに過ぎない）

#### ⑤家族

日高誠実の祖父

日高実義（さねよし）

和歌や俳句を嗜む風流人

父

明実（あきざね）

学問が生き甲斐で、古賀どう庵に学ぶ。私塾「咸宜園」の塾長を務めた。明倫堂の頭取も務めた。

母の父

荒川利貞

医者で俳句も嗜む名士だった

母 葛子（和歌を取り入れた‘此花日記’を残している）

#### ⑥師からの影響

- ・古賀謹一郎（1816～1884）  
番所調所（ばんしょしらべしょ）の頭取、洋学（蘭学）にも長けていた。生涯にわたり、誠実と交流。
- ・古賀どう庵（1788～1847、謹一郎の父）
- ・古賀精里 昌平黌の教授（1750～1877、謹一郎の祖父）  
寛政の改革を推進した松平定信（8代将軍吉宗の孫）より‘朱子学に戻す’との大命題を引受けた。（聖橋にある）昌平黌を開設し、儒学だけでなく、洋学にも精通。

寛政の改革は、老中・松平定信が主導した幕政改革で、江戸の三大改革（享保の改革、寛政の改革、天保の改革）のひとつ。天明の大飢饉のあとに行われた。緊縮財政や学問・風俗の取り締まり・飢饉に備える備荒政策などが中心。（引用）

備荒：前もって凶作や災害に備えておく

因みに、番所調所が開成校→東京大学となる。

#### ⑦生き方

- ・激動の時代に将来を見通す
- ・論語（立派な人間の育成）
- ・算盤（地域発展への寄与）
- ・道徳の本義の実践モラルだけでなく、秩序維持による乱れない状態  
精力的で動的な創造活動

#### ⑧「梅が瀬」生活

激動の時代だからこそ夢を持つ

- ・梅ヶ瀬大グランドビジョン
- ・実践躬行（一人でもやり遂げる）の厳守

理論や信条などを、自身の力で実際に踏み行うこと。▽「躬」は自ら、自分での意。口だけでなく、実際に踏み行う事の大切さをいう。「躬行実践きゅうこうじっせん」ともいう。（引用）

- ・仲間の支援者（理解者づくり）  
国家成長の時、根本を強化する。

#### ⑨典型例を見せる。

- ・国家中央政府にあらずして全地域一人一人の国民による
- ・中央政権は地方の活性化により意味を持つ
- ・民度を示す  
民度とは文化レベルであり、国家の繁栄は国民の高い「民度」にある。

(国民や住民の生活程度、また、経済力や文明の程度)  
文化とは民族、地域、社会で作りだして、その社会の人々に共有、習得され  
なら受け継がれてきた固有の行動様式・生活様式の総体である。  
元勲の山縣有朋は‘梅ヶ瀬を見よ。’〈見習うように〉とよく言っていた。  
尚、弟の鈴木来助も優秀だったが、惜しくも戊辰の役で没した。

#### ⑩. 「梅が瀬」のその後

1903年 借り受けた土地を無償で払い下げてもらって、そのうち70町  
歩を日高家の所領とし、残りを当時の白鳥村の共有地として与  
えた。

1965年 後継者の日高篤実は千葉市内に転居する。「梅ヶ瀬経営の難し  
さと無念」の一文が残っている。

#### 5. 「梅が瀬」へのアプローチ

JR内房線五井駅で小湊鉄道に乗り換える。約一時間で養老溪谷駅に到着。  
西へ5キロメートルばかり山峡を遡ると「梅が瀬」(養老溪谷に隣接)に到  
着する。駅から徒歩で約90分。駅から溪谷行の小湊バスが出ている。

#### 6. 養老溪谷駅前の「逆開発」

ついでに養老溪谷駅の駅前の「逆開発」を紹介する。

「逆開発」とは小湊鉄道の石川社長の造語である。

都市生活の息抜きに来た観光客が最初に見る景色がアスファルトのロー  
タリーではがっかりする。アスファルトを剥がし、木を植えている。十数  
年かけて森を取り戻す計画。

「逆開発」を進めている養老溪谷駅前の風景



以上